

広告

あした
未来への道 みちのくから、つながろう。
1000km Relay to Tokyo

1000km縦断リレー

interview

東日本大震災の被災地をランニングと自転車で駆け抜ける「未来(あした)への道 1000km縦断リレー2017」は7月24日から8月7日までの15日間、青森県と東京都を結んで行われる。今年で5回目。イベントに向けた機運を盛り上げるため、コース上の自治体の一つ、二本松市の新野洋市長にイベントの意義や自治体としての期待を聞いた。



二本松市長 新野 洋 氏

リレーの持つ最大の魅力は、たすきをつなぐことで人々の思いをつないでいけることだと思います。中継所では、ランナーや関係者の皆さんに市特産のキュウリを提供させていただいています。今回は市内の生産者からご好意が寄せられる予定で、イベントの認知度の高まりや市民の歓迎ぶりを感じています。

二本松市には浪江町の方々が大量避難されています。大量の人がイベントに参加していただくことで、地域の魅力を肌で感じ、その姿が報道などで広く伝われば風評の払拭(ふっしょく)や元気の発信につながると思います。歴史や観光、お酒、食べ物、人柄など多彩な魅力に恵まれた二本松市は、今年も市を挙げてイベントを応援していきます。

ランナー&サイクリスト大募集!

復興への想いを「たすき」でつなぐ、ランナー&サイクリスト、集まれ!

申し込み期間: 5月31日(水)まで **参加無料**

問い合わせ先: 運営事務局 03-3539-5539

参加お申込・詳細はコチラから <http://www.1000km.jp>

※インターネットでお申し込みの際には、ランニングポータルサイト「RUNNET」(<http://runnet.jp>)の会員登録が必要です。



主催



東京都



公益財団法人
東京都スポーツ文化事業団

協賛



あした
未来への道
1000km
縦断リレー

みちのくから、つながろう。
1000km Relay to Tokyo

震災発生から6年以上が経過した中、今回の1000km縦断リレーを通じて、郡山市の復興への取り組みを国内はもとより海外にも発信できるものと期待している。1人でも多くの人に参加してほしい。

郡山市民の普段の生活、姿を大勢の人にってもらう絶好の機会となる。参加者をはじめ、郡山市を訪れた人々には直接見て感じたことを情報として発信してほしい。また、海外から大勢の観光客が訪れるきっかけにもなればうれしい。

参加者1人1人に笑顔になってもらうことが大切と考えている。スポーツは「する」だけでなく、「見る」「支える」といった多様な関わりを持つことができる。今回もランニング・自転車での参加や、沿道での応援など、楽しみ方はそれぞれにある。市民が生き生きとした人生を送れることにつながるよう、1000km縦断リレーを盛り上げていきたい。

また、郡山市には魅力がたくさんある。8月2日のゴール後には、ゴール地点である開成山陸上競技場で「ウェルカム交流イベント」を企画している。郷土芸能や特産品など郡山市の様々な魅力をPRする予定で、大勢の人に楽しんでもらいたい。スポーツの力が後押しとなり、福島県、郡山市の復興がさらに進んでいくことを願っている。



【プロフィール】 澁谷 知久(しぶやともひさ)さん。
郡山市出身。福島大卒。郡山市文化スポーツ部スポーツ振興課事業係主任。39歳。

ランナー&サイクリスト

大募集!

参加無料

復興への想いを「たすき」でつなぐ、ランナー&サイクリスト、集まれ!

青森から東京まで、東日本大震災の被災地を、ランニングと自転車をつなぐ縦断リレー。15日かけて、みんなで「たすき」をつなぎながら、復興を応援しよう!

大会期間 7月24日~8月7日

募集内容 ●ふれあいランニング(1区間 約100名) ●一般ランニング(1区間 最大8名) ●自転車(1区間 最大3名)

参加お申込・詳細はコチラから

*インターネットでお申し込みの際には、ランニングポータルサイト[RUNNET] (<http://runnet.jp>)の会員登録が必要です。

お問い合わせ先 未来(あした)への道1000km縦断リレー2017運営事務局

TEL03-3539-5539 (平日10:00~17:00)



お申込期間

4/28(金)

5/31(水)

主催



東京都



公益財団法人

東京都スポーツ文化事業団

協賛



JAL